

# 調布教会 教会学校 週報

2026年度 みことば

「主を喜びとすることこそ、あなたがたの力であるからだ。」ネヘミヤ記 8章10節c



テーマ 「 神様と仲良くなろう 」

## 教会学校礼拝プログラム

2026年6月7日

前 奏

賛 美

輝く日を仰ぐとき 讃美歌 21-226

お 祈 り

天にいます父なる神様、今朝も私たちを招いてくださり、礼拝をおささげ出来ますことを感謝いたします。神さま、あなたは愛によって、この自然を造り、そして、私たち人間を造られた方です。しかし、いま世界は闇の中にいるようです。この闇の中にも一条の光が見えるような眼を与えてください。イエス様が言われる「互いに愛し合いなさい」のみ言葉を行えますようにお守りください。真の平和が来ますように！ このお祈りをイエス様のお名前によってお献げします。 アーメン

聖 書

詩編 19 編 1~6 (以下参照 8~11、14 節) 旧約聖書 p.835

交読詩編

交読詩編 (8) 詩編 4 6 より p.204

説 教

ダビデの“信仰、に学び、生かされている”私、に気づく。

1. 今私たちはどんな社会に生きているのでしょうか？
2. 詩篇 [ ] 編中約半分の 73 編に「ダビデの詩」と書かれています。
3. 詩篇 19 編は何時頃書かれたのか⇒およそ 3000 年前 (BC1000 頃)
4. ダビデの心情：自然(1~6) → 御言葉(8~11) → 自分の内面(14)
5. 神さまの語りかけに“気づく、ために今日からできる”一手、はあるのか。
6. 私たち一人ひとは神さまの作品、自信を持って歩もう。

暗唱聖句

てん かみ えいこう かた おおぞら み て わざ つ  
天は神の栄光を語り 大空は御手の業を告げる。 詩編 19 編 2 節

黙想タイム

賛 美

つくりぬしを賛美します 讃美歌 21-6

献金と感謝の祈り 24-1

主の祈り

てんにましますわれらのちちよ ねがわくはみなをあがめさせたまえ  
みくにをきたらせたまえ みこころのてんになるごとく ちにもなさせたまえ  
われらのにちようのかてを きょうもあたえたまえ  
われらにつみをおかすものを われらがゆるすごとく われらのつみをもゆるしたまえ  
われらをこころみにあわせず あくよりすくいたまえ  
くにとちからとさかえとは かぎりなくなんじのものなればなり アーメン

お知らせ

裏面に記載

賛 美

36 いまでかけよう

祝 福

八木浩史 牧師

後 奏

# 教会学校の課題 ① 「神の家族」として、調布教会に繋がろう、② 友のために祈ろう、

③ 災害や戦禍の中にある人々のために祈ろう、④ 調布教会創立 80 周年を祝おう。

今月・来月の予定			
6月		7月	
7日	6月のお誕生日会	5日	7・8月のお誕生日会
14日	花の日・子どもの日礼拝	12日	絵本の読み聞かせ
21日		19日	
28日	7月の賛美練習、ね羊さんと御心探索	26日	8月の賛美練習、ね羊さんと御心探索

## 本日のお知らせ

- ・今日は、6月のお誕生日会です。楽しみにしてください。
- ・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちしています。
- ・教会に来られない時は、LINE を利用して家庭礼拝をお献げしましょう。
- ・次週のお話しを楽しみに待ちましょう！

メモ：

## <さんび>

1 かがや ひ あお  
輝く日を仰ぐとき、  
つきほし  
月星ながむるとき、  
いかすぢ な  
雷 鳴りわたるとき、  
まことのみ神をおもう。

(\*繰り返し) たたえよ、わがこころ、  
聖なるみ神を。  
たたえよ、わがこころ。  
聖なるみ神を。


2 もり とり ね き  
森にて鳥の音を聞き、  
そびゆる山にのぼり、  
たにま  
谷間のきよき流れに、  
まことのみ神をおもう。 \*

3 かみ よ  
み神は世びとをあいし、  
ひとりのみ子をくだし、  
よ  
世びとの救いのために、  
じゅうじか  
十字架にかけたまえり。 \*

かがや ひ あお  
輝く日を仰ぐとき

4 あめつち かみ  
天地つくりし神は、  
ひと  
人をもつくりかえて、  
ただ  
正しくきよきたましい  
も  
持つ身とならしめたもう。 \*

5 まもなく しゅ  
まもなく主イエスはきたり、  
むか  
われらを迎えたまわん。  
いかなるよろこびの日ぞ、  
いかなるさかえの日ぞ。 \*



## つくりぬしを さんび 賛美します

- 1 さんび  
つくりぬしを 賛美します。  
まへ  
み前に進み ひれふし、  
ささげます 身もたましいも、  
しん  
きよい主のみ名を 感謝して。

2 ぜんのう かみ  
全能の神を 賛美します。  
あらし なみ  
嵐と波を しずめて、  
う か  
こころみに 打ち勝つか  
あた めく  
与える恵みに 感謝して。

3 こころ  
心こめて 賛美します。  
こえ  
よろこびの声 合わせて、  
つよ  
強い手で いつも導く  
あがないの神に 感謝して。
- 